ONKYO®

CR-T1
（CDレシーバー）

X-T1CR
CR-T1（CDレシーバー）
D-T1（スピーカーシステム）

取扱説明書



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

接続する

基本の操作

ラジオを聞く

放送局を編集する

名前をつける

CDを聞く

いろいろな設定

時計とタイマー

その他

主な特長/付属品

「X-T1CR」はCR-T1とD-T1で構成されています。

■ 音楽用CD-R、CD-RW再生にも対応※1

■ FMオートプリセット可能。FM、AM合わせて30局メモリー搭載チューナー

■ 重低音の調整ができるS.BASS(スーパーバス)機能、低音や高音を調整できるTONE(トーン)機能

※1 PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済みのディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

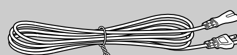
付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●電源コード 2.0m（1）

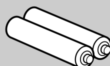


ご注意

付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●リモコンーRC-637S（1）

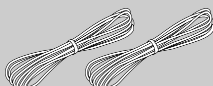
●単3乾電池（2）



●取扱説明書（本書1）　●保証書（1）　●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

スピーカーに同梱の付属品

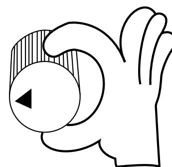
●スピーカーコード 1.8m（2）



カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

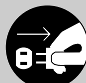
絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



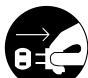


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない





電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない



分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない



● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない



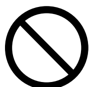
● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

⚠警告

■ 水のかかるところに置かない

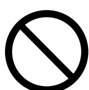

水場での
使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


水ぬれ
禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



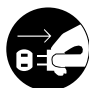
● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



● 本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら



電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

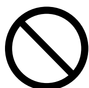

接触
禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

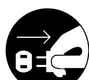


● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

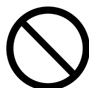


● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意



● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所、厚手のじゅうたんの上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● 本機を台やラックに乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。



●移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
● 移動させる場合は、本機の電源を切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ



● スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない



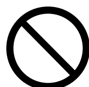
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について



● 本機を他のオーディオ機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

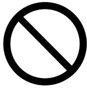
■ 使用上の注意



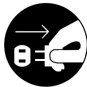
● 音量（ボリューム）に注意してください。電源を入れたときに音量が大きすぎた場合、過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
● お子さまがディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
● キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意



- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを壁の電源コンセントに差し込んだ状態で、本体のAC INLETから電源コードがはずれていないかご注意ください。また、その状態で電源コードのインレット側をさわったりすると、感電する恐れがありますのでご注意ください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。


電源プラグをコンセント
から抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

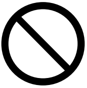


- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて



- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

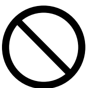
■ 点検・工事について


電源プラグをコンセント
から抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。



- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。



- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

CDについて

再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

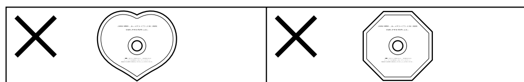






※本機は音楽用CD（CD-DA）として録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

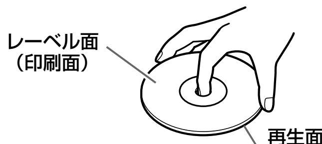


複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

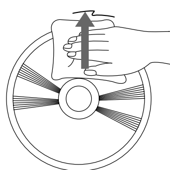


再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CDのお手入れについて



汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

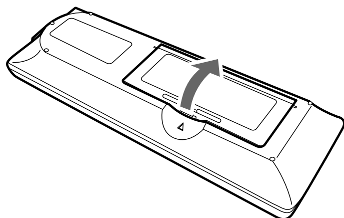
メモリー保持について

本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

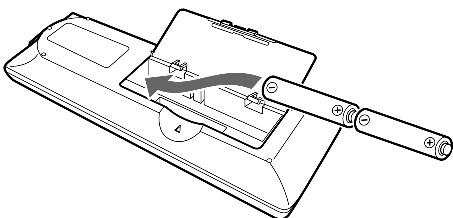
リモコンを準備する

乾電池を入れる

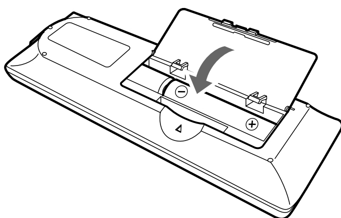
1. カバーを矢印の方向に持ち上げる



2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる



3. カバーを戻す

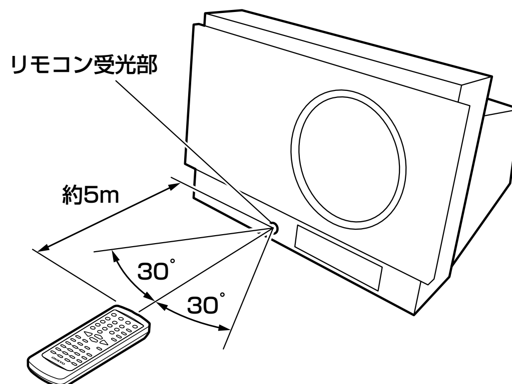


ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕のページに主な説明があります。

① **STANDBY/ONボタン〔20〕**
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

② **STANDBYインジケーター〔20〕**
スタンバイ状態のとき点灯します。

③ **入力選択部の▲/▼ボタンとインジケーター〔21､22､25〕**
聞くソースを選びます。選択した入力ソースのインジケーターが点灯します。

④ **CD部操作ボタン**

⏮/◀◀ボタン〔30〕
CDを聞いているときは､押すたびに1つ前の曲を選びます。再生中に押し続けると､再生中の曲を早戻しします。

■ボタン〔30〕
CDを聞いているときは、再生を停止します。

▶/❚❚ボタン〔30、32〕
CDの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。
他のソースを聞いているときに押すと、入力ソースがCDに切り換わり、CDの再生を始めます。

▶▶/⏭ボタン〔30〕
CDを聞いているときは､押すたびに次の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早送りします。

⑤ **VOLUME▲/▼ボタンとインジケーター〔21〕**
音量を調節します。電源を入れるとインジケーターが点灯します。

⑥ **OPEN/EJECTボタン〔30〕**
CDを取り出すときに押します。ボタンを押すとCDカバーが開き、CDが出てきます。CDカバーは手で閉めてください。

⑦ **CD挿入部〔30〕**
CDを挿入します。軽く押すと、本機内部に引き込まれます。

⑧ **PHONES端子〔21〕**
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑨ **リモコン受光部〔9〕**
リモコンからの信号を受信します。

⑩ **DISPLAYボタン〔25〕**
表示部の情報を切り換えます。

⑪ **DIMMERボタン〔21〕**
表示部の明るさを切り換えます。
表示部を暗くしたときは、VOLUME部、TUNER部、CD部のインジケーターも消灯します。

⑫ **TUNER部操作ボタン**

◀TUNING UP/TUNING DOWN▶ボタン〔22､25〕
周波数を合わせるときに押します。

⏮PRESET⏭ボタン〔25〕
登録した放送局を選びます。

⑬ 表示部
次ページをご覧ください。

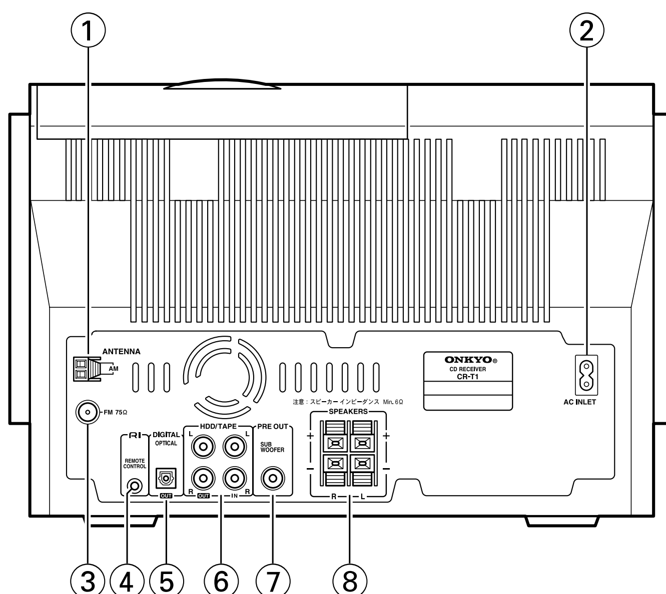
スーパー　バス
⑭ S. BASSボタン〔34〕
重低音を強調します。

ミューティング
⑮ MUTINGボタン〔21〕
音を一時的に消します。

リピート
⑯ REPEATボタン〔33〕
CDをくり返し再生します。

ランダム
⑰ RANDOMボタン〔32〕
CDをランダムに再生します。

背面パネル



アンテナ
① ANTENNA AM端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

インレット
② AC INLET
付属の電源コードを接続します。

アンテナ
③ ANTENNA FM75Ω端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

リモート　コントロール
④ RI REMOTE CONTROL端子
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

デジタル　オプティカル　アウト
⑤ DIGITAL OPTICAL OUT端子
光デジタル音声の出力端子です。
デジタル入力端子付きのMDレコーダーやCDレコーダーなどと接続します。PCM信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

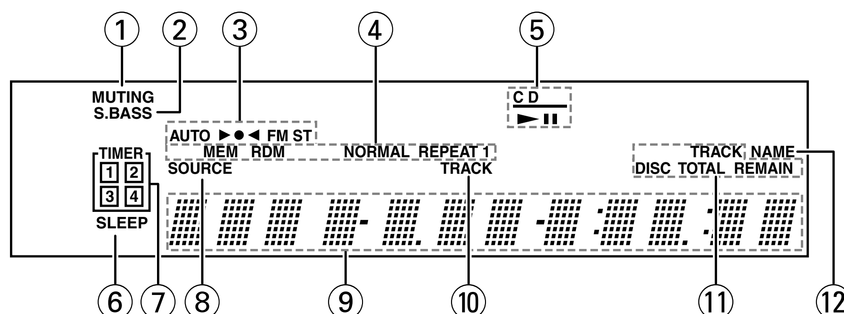
テープ　アウト　イン
⑥ HDD/TAPE OUT/IN端子
オーディオ用ピンコードを使って、オンキヨー製リモートインタラクティブドック（RIドック）などのHDD機器やテープデッキを接続する端子です。

プリ　アウト
⑦ PRE OUT端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

スピーカー
⑧ SPEAKERS端子
スピーカーを接続する端子です。
同梱のスピーカー（D-T1）を接続します。

接続については、15～19ページをご覧ください。

表示部



① MUTING表示
ミューティングが働いているときに点滅します。

② S.BASS表示
スーパーバス設定時に点灯します。

③ FM/AM受信情報
FM/AM受信時の情報を知らせます。(☞22、25ページ)

④ 再生モード表示

MEM ：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM ：ランダム再生時に点灯します。
NORMAL ：通常再生時に点灯します。
REPEAT ：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1 ：1曲リピート再生時に点灯します。

⑤ CD 再生表示
CDの再生状態を表示します。

⑥ SLEEP表示
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑦ TIMER表示
タイマーのセット状態を表示します。
□： タイマー録音設定時に点灯します。
1 ～4 ： タイマー1～4設定時に点灯します。

⑧ SOURCE表示
再生されているソースが表示されているときに点灯します。

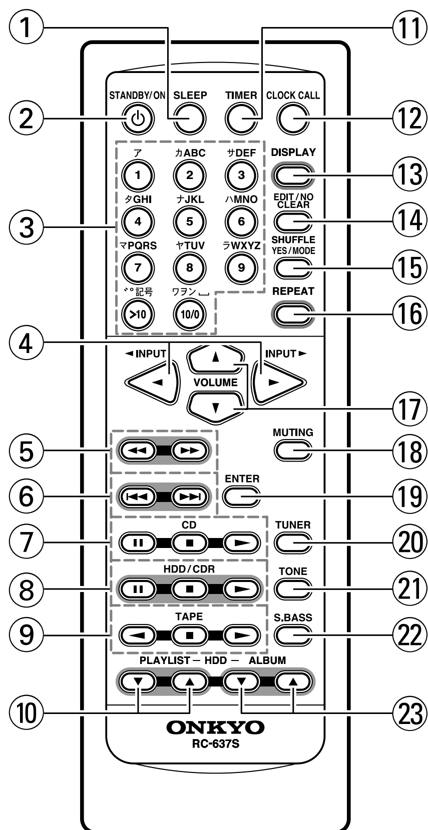
⑨ 多目的表示部
再生時間や名前などを表示します。

⑩ TRACK表示
トラック番号が表示されているときに点灯します。

⑪ CD情報
多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

⑫ NAME表示
登録した放送局に名前をつけるときに点灯します。

リモコン（RC-637S）〔　〕のページに主な説明があります。



① SLEEPボタン〔37〕
スリープタイマーの設定に使用します。

② STANDBY/ONボタン〔20、40〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ 文字、記号、アルファベット、数字ボタン〔28、31、36〕
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

④ INPUT◀/▶ボタン〔21、25、35〕
押すごとに入力が切り換わります。

⑤ ◀◀/▶▶ボタン〔22、29、31〕
再生中の曲を早戻し、早送りします。また、周波数の選択や、放送局に名前をつけるときの文字の修正にも使用します。

⑥ I◀◀/▶▶Iボタン
〔24～29、31、32、34、37～40〕
CDのときは前後の曲を選びます。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

⑦ CD操作ボタン〔31〕
II：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

⑧ 別売りのオンキヨー製HDD/CDR操作ボタン
II：再生を一時停止します。
■：再生、録音や早送り、早戻しを停止します。
▶：再生を始めます。

⑨ 別売りのオンキヨー製テープデッキ操作ボタン
◀　：テープデッキのB(裏)面を再生します。
■　：再生、録音や早送り、巻戻しを停止します。
▶　：A(表)面を再生します。

⑩ PLAYLIST▲/▼ボタン〔35〕
接続しているHDD機器のプレイリストをアップダウンします。

⑪ TIMERボタン〔36、38、41〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑫ CLOCK CALLボタン〔36〕
時刻を表示させるときに押します。

⑬ DISPLAYボタン〔25、31、35〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。

⑭ EDIT/NO/CLEARボタン〔23、24、26～29〕
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

⑮ SHUFFLE/YES/MODEボタン
〔24、25、28、32、33〕
再生、設定などで、選択した項目を決定します。メモリー再生やランダム再生を設定します。

⑯ REPEATボタン〔33〕
CDをくり返し再生します。

⑰ VOLUME▲/▼ボタン〔21〕
音量を調節します。

⑱ MUTINGボタン〔21〕
音量を一時的に消します。

⑲ ENTERボタン
〔23、24、26～29、32、34、36～40〕
編集や各設定で項目の確定をします。

⑳ TUNERボタン〔22、23、25〕
入力をチューナーに切り換えます。押すたびに、FMとAMを切り換えます。

㉑ TONEボタン〔34〕
低音、高音を調整します。

㉒ S.BASSボタン〔34〕
重低音を強調します。

㉓ ALBUM▲/▼ボタン〔35〕
接続しているHDD機器のアルバムリストをアップダウンします。

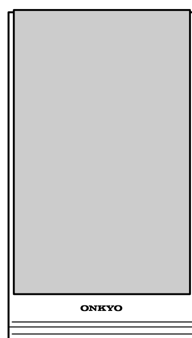
※オンキヨー製のHDD機器やテープデッキ、CDレコーダーを接続しているときに使用できるボタンについての詳細は、35ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

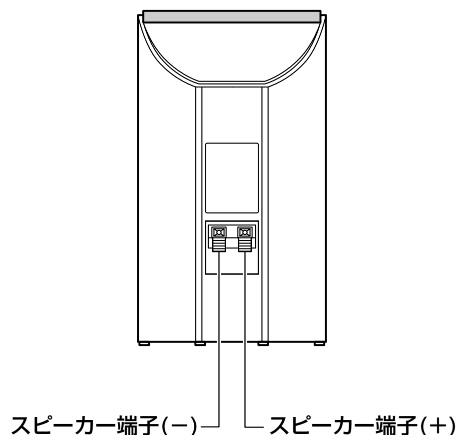
スピーカー

D-T1は左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

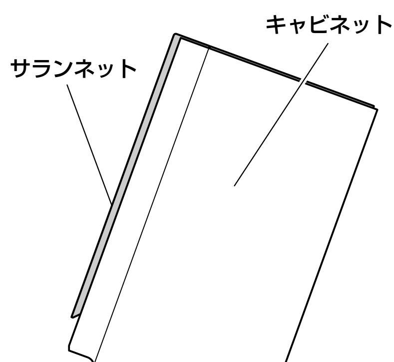
●前面



●背面



●側面

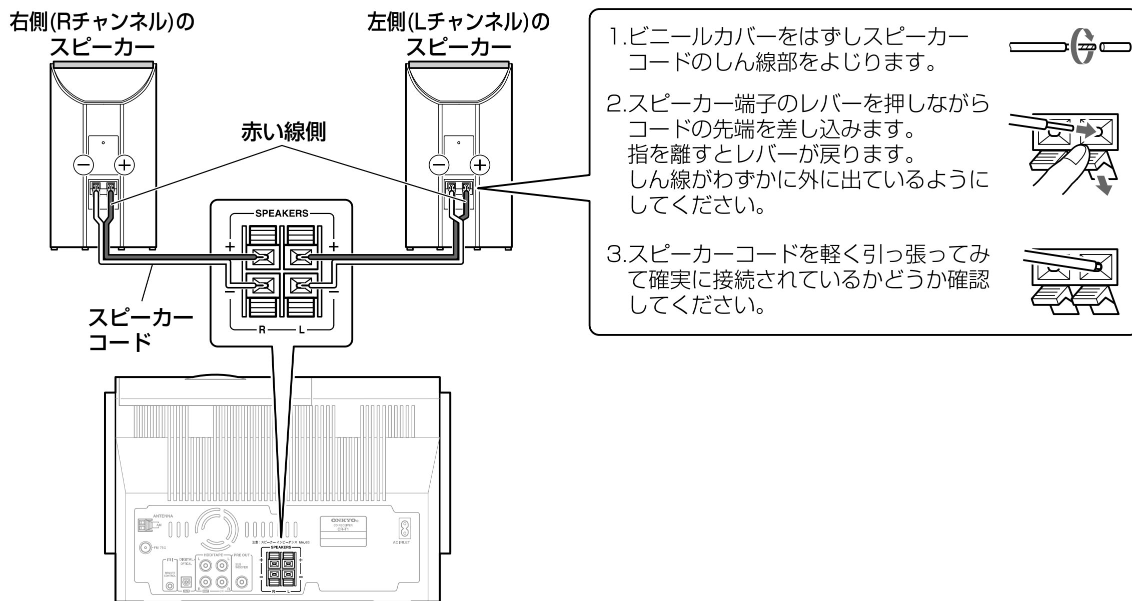


ご注意

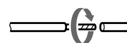
このスピーカーシステムは、前面のサランネットを取りはずすことができない構造になっています。無理にはずそうとすると、故障の原因となりますのでおやめください。

接続する

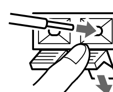
スピーカーを接続する



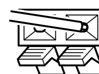
1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。



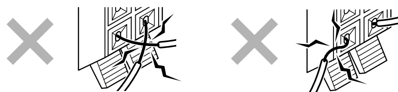
2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。



3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。



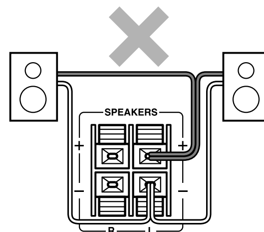
- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしや背面パネルに絶対に接触させないでください。



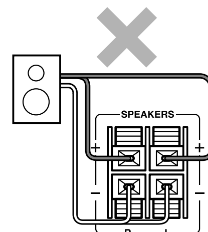
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが6Ω(オーム)〜16Ωのものを接続してください。6Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
同梱のスピーカー(D-T1)は、本機(CR-T1)に合うように設計されています。本機(CR-T1)と他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますので、ご了承ください。
- スピーカーの(+)と本体の(+)を、スピーカーの(−)と本体の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を(+)側に接続してください。

- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続(例1)したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続(例2)しないでください。故障の原因になります。

例1:



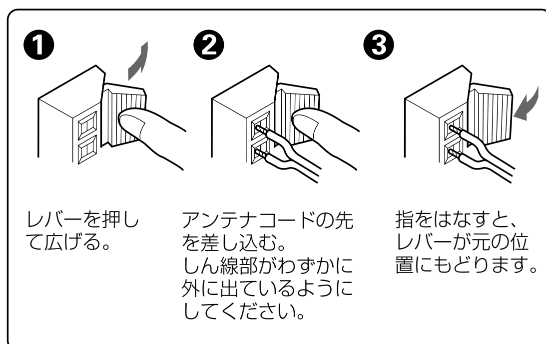
例2:

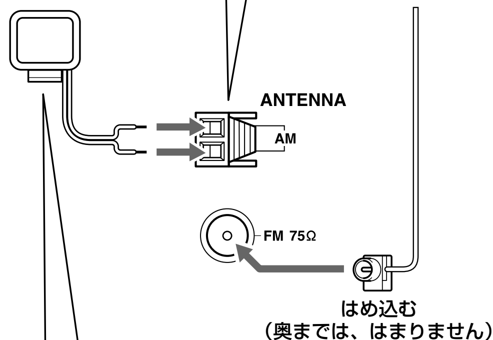


ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞23ページ）



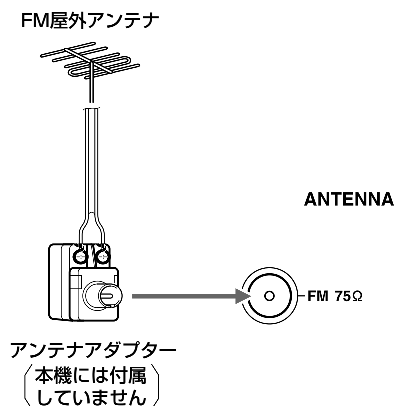




！ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や+/−などの区別はありません。）

FM屋外アンテナを接続する



FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

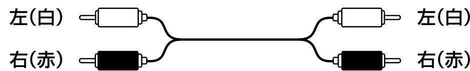
ご注意

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

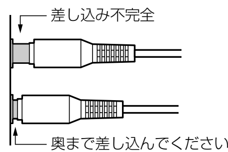
外部機器を接続する

接続の前に
- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。
- 赤いプラグを右チャンネル（Rの表示）、白いプラグを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。

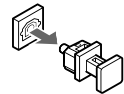


- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル端子について
本機の光デジタル端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。



音声ケーブルと端子の種類について

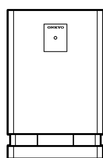
本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル（OPTICAL）		OPTICAL	デジタル信号を伝送します。
オーディオ用ピンコード		L R	アナログ音声を伝送します。

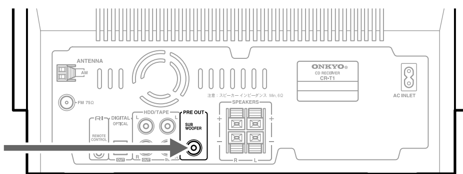
サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

アンプ内蔵（アクティブ）サブウーファー



本機

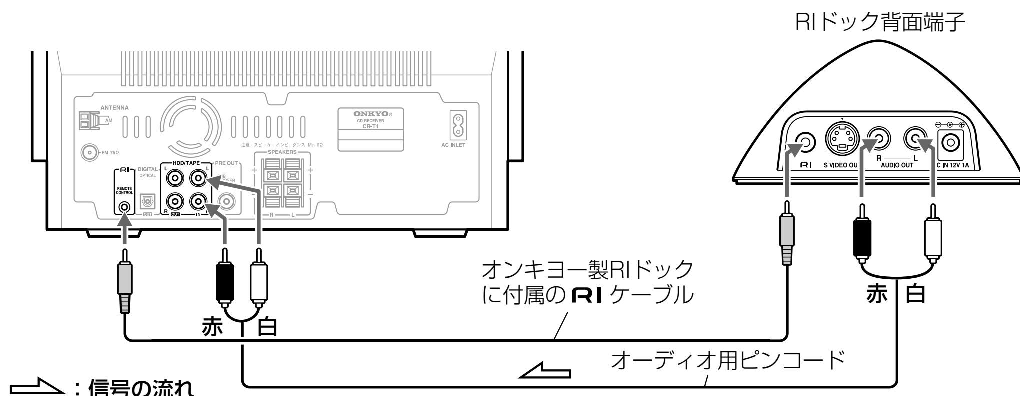


：信号の流れ

接続する

リモートインタラクティブドック（RIドック）を接続する

オンキヨー製DS-A1などのRIドックを本機と接続します。
本機のTAPE/HDD IN端子とRIドックの音声出力端子を接続してください。



オンキヨー製RIドックとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

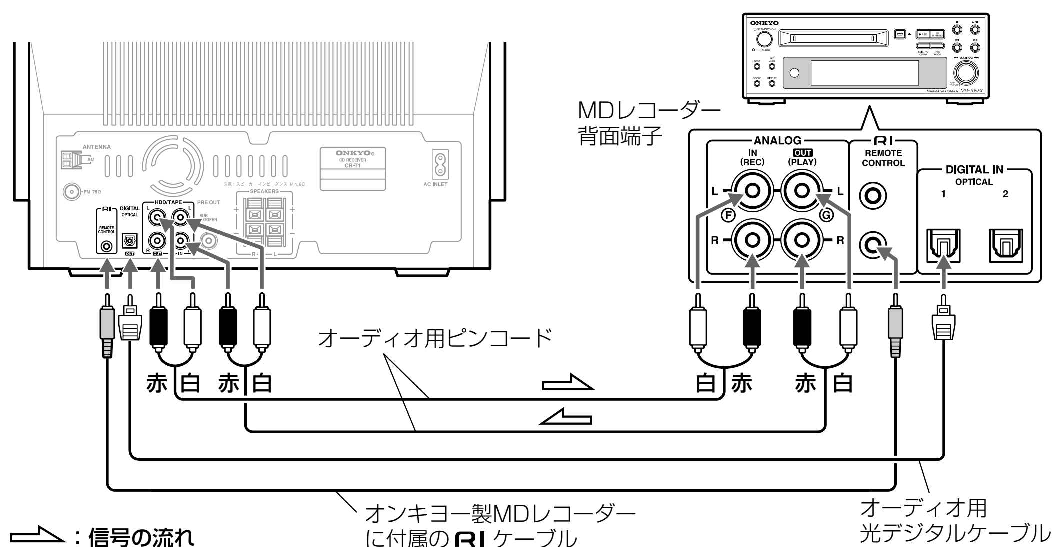
- 本機付属のリモコンでRIドックも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- 外部入力の表示名称を「HDD」にする必要があります。（☞35ページ。お買い上げ時の設定は「HDD」ですので、そのままお使いください。）また、RIドックのMODE（モード）スイッチをHDDにしてください。
- オンキヨー製RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的にHDDに切り換わります。

MDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製MDレコーダーとの接続例です。）

本機のHDD/TAPE（テープ） OUT（アウト）端子とMDレコーダーの音声入力端子を接続してください。

本機のHDD/TAPE IN（イン）端子とMDレコーダーの音声出力端子を接続してください。

MDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL（デジタル） OPTICAL（オプティカル） OUT（アウト）端子とMDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続してください。

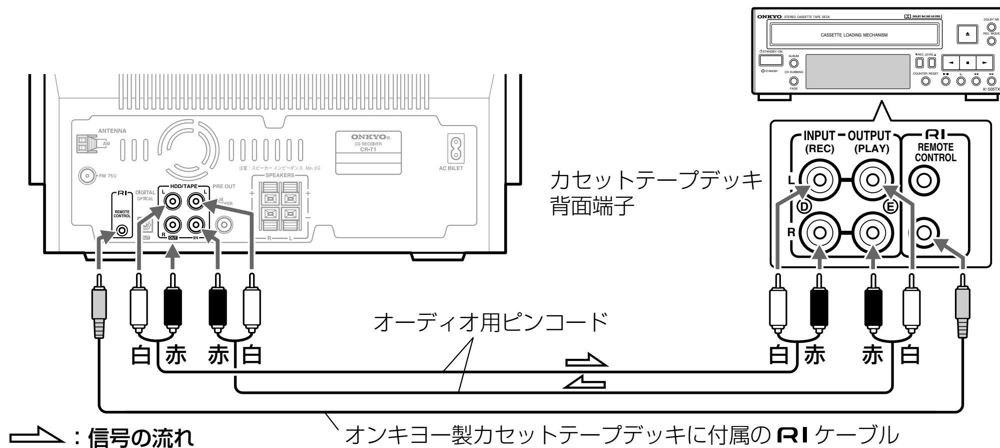


オンキヨー製MDレコーダーとRI接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製MDレコーダーも操作できます。
- 外部入力の表示名称を「MD」にする必要があります。(☞35ページ。お買い上げ時の設定は「HDD」になっています。）
- オンキヨー製MDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にMDに切り換わります。

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

本機のHDD/TAPE（テープ） OUT（アウト）端子とカセットテープデッキの音声入力端子INPUT（インプット）（REC（レック））を接続してください。
本機のHDD/TAPE IN（イン）端子とカセットテープデッキの音声出力端子OUTPUT（アウトプット）（PLAY（プレイ））を接続してください。

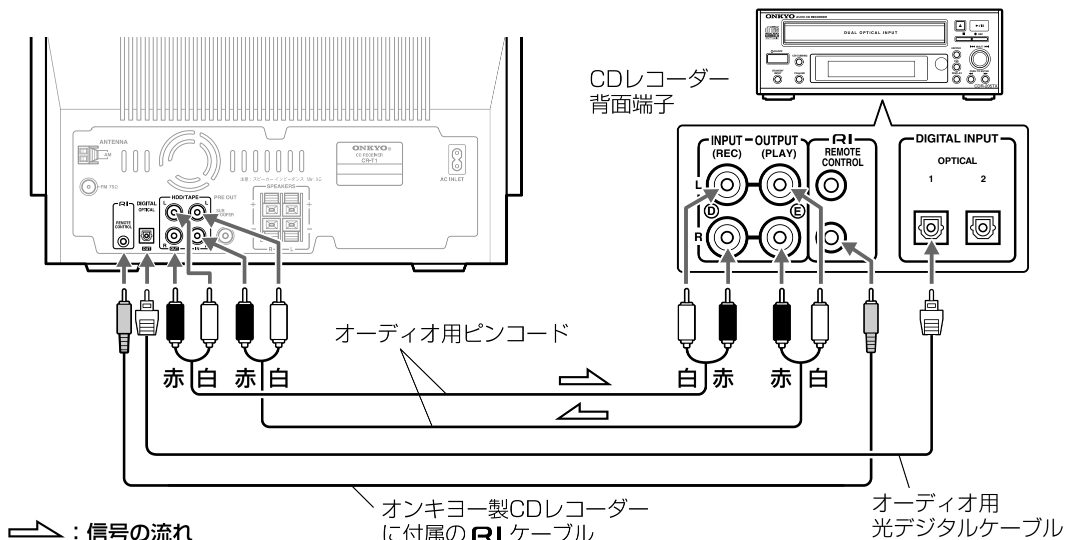


オンキヨー製カセットテープデッキとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- 外部入力の表示名称を「TAPE（テープ）」にする必要があります。（☞35ページ。お買い上げ時の設定は「HDD」になっています。）
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

本機のHDD/TAPE（テープ） OUT（アウト）端子とCDレコーダーの音声入力端子を接続してください。
本機のHDD/TAPE IN（イン）端子とCDレコーダーの音声出力端子を接続してください。
CDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL（デジタル） OPTICAL（オプティカル） OUT（アウト）端子とCDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続してください。

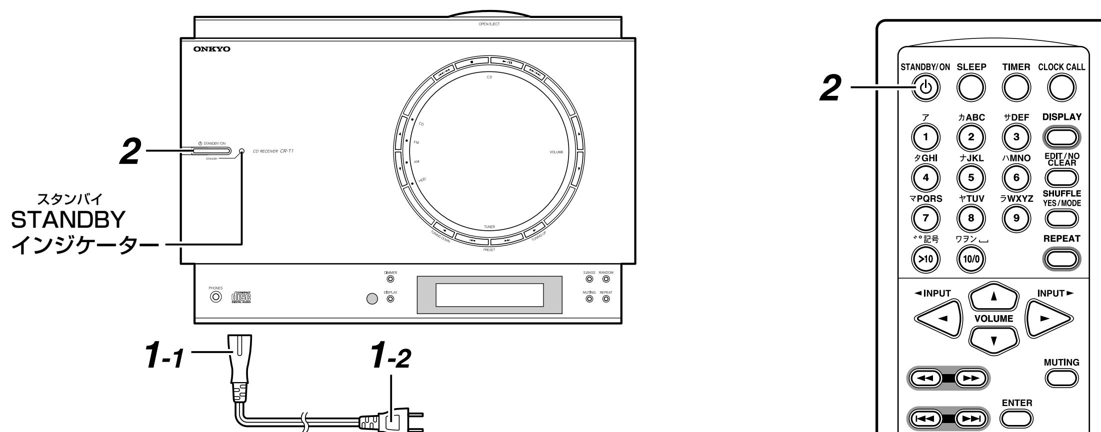


オンキヨー製CDレコーダーとRI接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

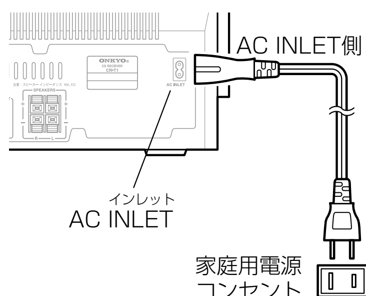
- 本機付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞35ページ。お買い上げ時の設定は「HDD」になっています。）
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。

電源を入れる

電源を入れる前に
- 15〜19ページの接続がすべて終了しているか確認してください。



1	**付属の電源コードを本体背面の AC INLET（インレット）につなぎ（*1-1*）、プラグを家庭用電源コンセントに接続する（*1-2*）**



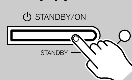
STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

ご注意

- **付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。**
  また、付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、本機のAC INLETから電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。
  誤ってコードのAC INLET側をさわると、感電する場合があります。

2	**本体またはリモコンの STANDBY（スタンバイ）/ON（オン） ボタンを押す**

本体



または
リモコン

STANDBY/ON



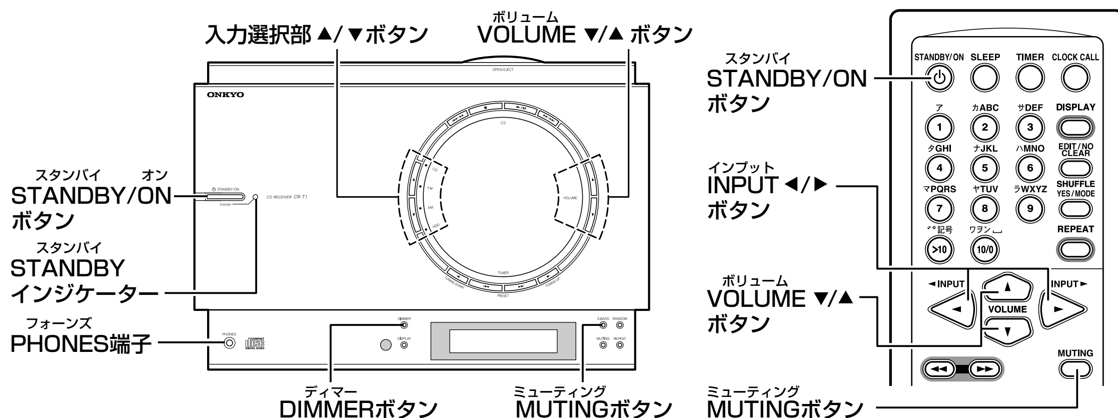
電源を切るときは、同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

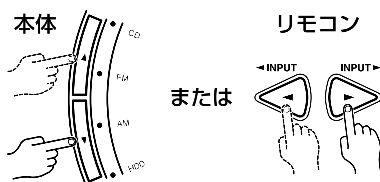
本機に RI ケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製HDD機器やカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

電源コードをコンセントから抜く場合は
必ずSTANDBY/ONボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。電源スイッチ付きのテーブルタップに電源コードを接続しているときも、電源を切る前に本機をスタンバイ状態にしてください。

基本の操作を理解する

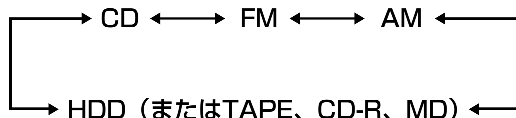


入力を切り換える



本体の入力選択部の▲ / ▼ボタンまたはリモコンのINPUT（インプット）◀/▶ ボタンを押して切り換える

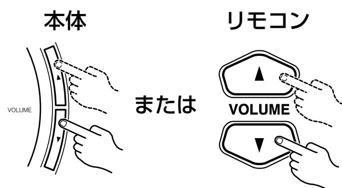
CD、FM放送、AM放送、接続した外部機器から選べます。選択した入力のインジケーターが点灯します。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。



！ヒント

HDD/TAPE（テープ）端子に接続している機器がカセットテープデッキやCDレコーダー、MDレコーダーの場合は、表示部に表示される名前を変更することができます。（☞35ページ）また、オンキヨー製のカセットテープデッキやCDレコーダーをRI接続しているときは、名前を変更するとシステム動作が可能になり、本機に付属のリモコンで操作することができるようになります。

音量を調節する



本体またはリモコンのVOLUME（ボリューム）▲ / ▼ボタンを押す

音を一時的に消す



本体またはリモコンのMUTING（ミューティング） ボタンを押す

MUTING表示が点滅し、音を一時的に消します。

解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押します。

- 音量を変えたり、STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押した場合にも解除されます。

表示部およびインジケーターを暗くする

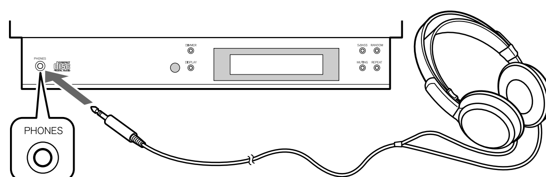


本体のDIMMER（ディマー） ボタンを押す

ボタンを押すと表示部は暗くなり、VOLUME（ボリューム）部、TUNER（チューナー）部、CD部のインジケーターは消灯します。もう一度押すと元に戻ります。

ヘッドホンで聞くときは

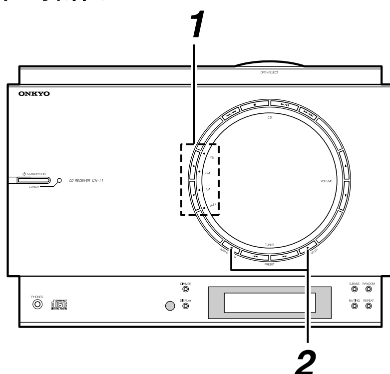
ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES（フォーンズ）端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。



FM/AM放送を聞く

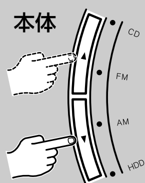
手動で周波数を合わせて聞く

■本体で操作する



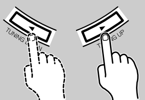
操作の前に
電源を入れてください。

1 入力をFMまたはAMにする



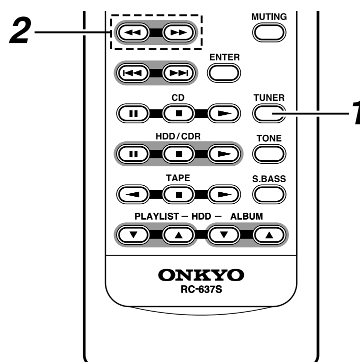
入力選択部の▲/▼ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。
- FMまたはAMを選ぶと、チューナー操作部の緑色のインジケーターが点灯します。

2 TUNER（チューナー）部のTUNING UP（チューニング アップ）▶ボタンまたはTUNING DOWN（ダウン）◀ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる



一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀または▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動で停止します。

■リモコンで操作する



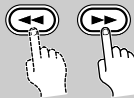
操作の前に
電源を入れてください。

1 リモコンのTUNER（チューナー）ボタンを押す



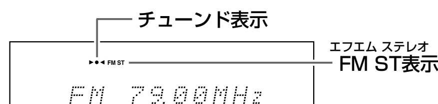
バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。
- FMまたはAMを選ぶと、チューナー操作部の緑色のインジケーターが点灯します。

2 リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる



一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀◀または▶▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動で停止します。

チューニングしている間は、▶ ◀が点滅します。放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。



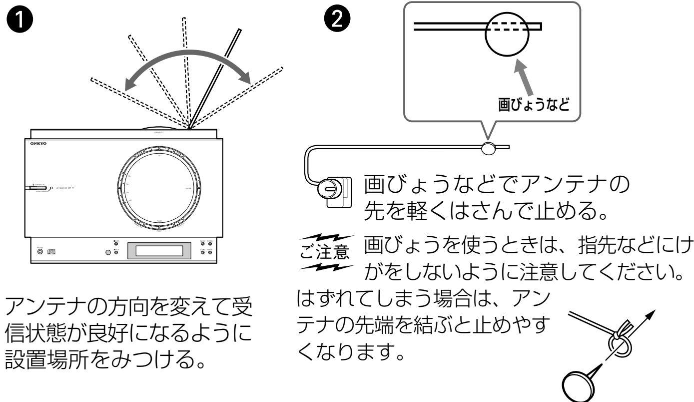
TV音声について
テレビの1～3チャンネルの音声が聞けます。
1CH；95.75MHz　2CH；101.75MHz　3CH；107.75MHz
- 本機のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、FM放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声はモノラルで受信されます。

> **お知らせ**
> 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
> 本機で受信できるVHF1～3CHについても同様となります。

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。



アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

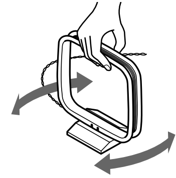
画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。



- マンションなど、鉄筋構造の家屋の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところに設置してください。
- AM室内アンテナの巻き線部は、ほどかないでください。

放送局を登録して聞く

FMを自動で登録する－オートプリセット－

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、一括して自動(オート)で行えます。AM局は自動で登録できませんので、次ページをご覧ください。

予 備 知 識

- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの間で行います。
- 既に放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

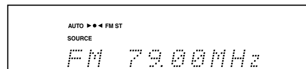
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。

ご注意 お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞27ページ）

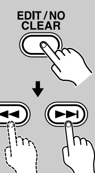
1



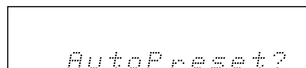
TUNERボタンを(くり返し)押して、「FM」を表示する



2



EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「AutoPreset?」を表示する



3



ENTERボタンを押す

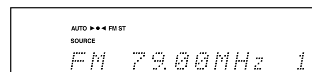


再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押してください。

4



ENTERボタンを押す



オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に放送局を検索し、最大20局まで登録していきます。

！ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

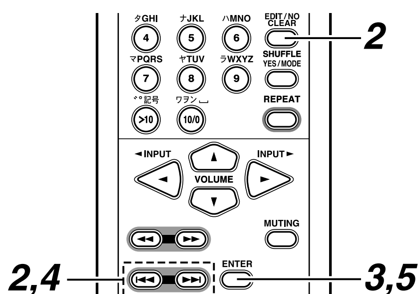
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞28ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞27ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞26ページ

1局ずつ登録する－プリセットライト－

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。（FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。）

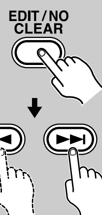
予備知識

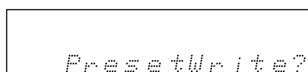
- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。



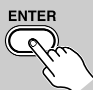
1
22ページの方法で放送局を受信する

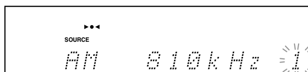
2
EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Preset Write?」（プリセット ライト?）を表示する





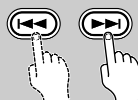
3
ENTER（エンター）ボタンを押す

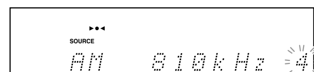




登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押します。

4
別のチャンネルに登録するときは、|◀◀/▶▶|ボタンを押す

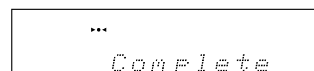




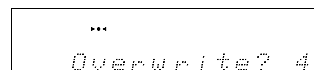
5
ENTERボタンを押して決定する



放送局が登録され、「Complete」（コンプリート）（完了）と表示された後、通常表示に戻ります。



- 「Overwrite?」（オーバーライト?）（書き換えますか?）と表示されたときは

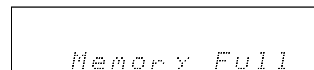


選んだチャンネル番号は登録済みです。
〇すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE（イエス モード）ボタンを押します。
〇登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押します。

SHUFFLE YES/MODE

EDIT/NO CLEAR

- 「Memory Full」（メモリー フル）と表示されたときは



FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞27ページ）、再度登録してください。

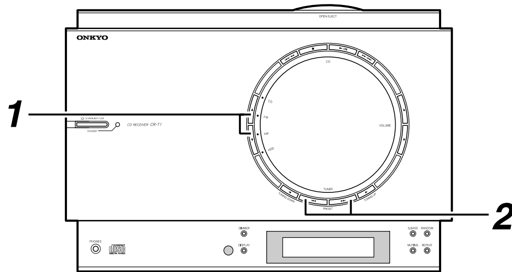
6
次を登録するときは、手順*1*～*5*をくり返す

！ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

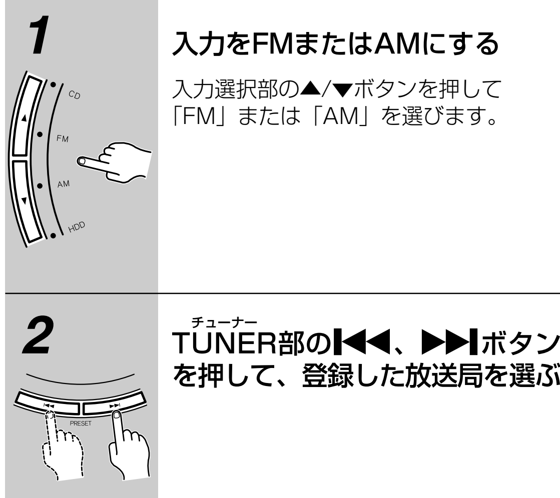
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞28ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞27ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞26ページ

登録した放送局を聞く　*あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞23、24ページ）*

■本体で操作する



操作の前に
電源を入れてください。

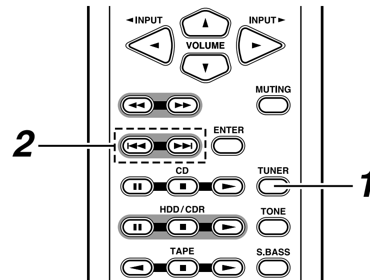


1 入力をFMまたはAMにする

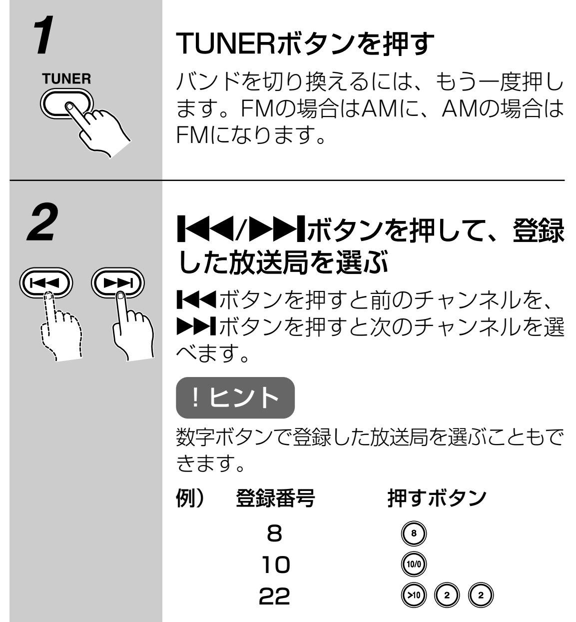
入力選択部の▲/▼ボタンを押して「FM」または「AM」を選びます。

2 TUNER（チューナー）部の⏮、⏭ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

■ リモコンで操作する



操作の前に
電源を入れてください。



1 TUNERボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。

2 ⏮/⏭ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

⏮ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

例）	登録番号	押すボタン
	8	8
	10	10/0
	22	>10 2 2

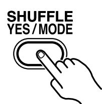
表示部の情報を切り換える

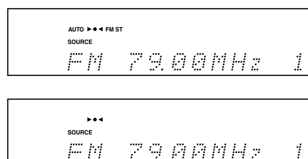
本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM/AM周波数 ⟷ 放送局に付けた名前

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー　ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「登録した放送局に名前をつける」（☞28ページ）

FM放送を受信しにくいときは





電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのYES/MODE（イエス/モード）ボタンを押し、AUTO（オート）（オートステレオ）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）にもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTOにしておくと自動的にFMステレオ受信となります。

FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

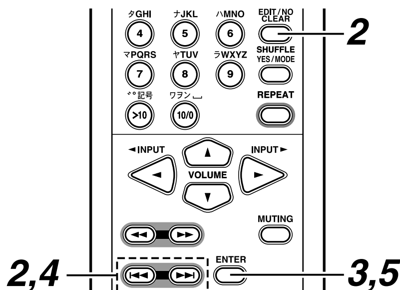
編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする（リモコンのみ）

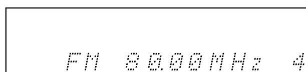
登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞28ページ）も同時にコピーされます。



1

FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す

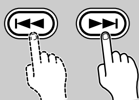
例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき



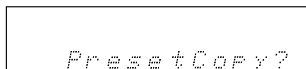
2







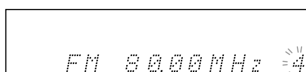
EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Preset Copy?（プリセット コピー?）」を表示する



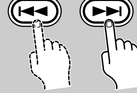
3



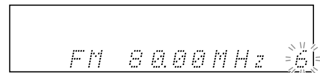
ENTER（エンター）ボタンを押す



4



⏮/⏭ボタンを押して、コピー先のチャンネルを選ぶ



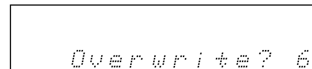
5



ENTERボタンを押す

放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

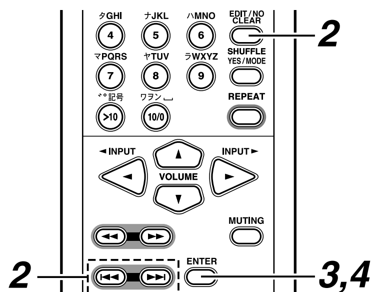




選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTERボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

登録した放送局を削除する（リモコンのみ）



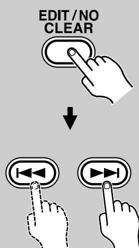
1

FMまたはAMの、削除するチャンネルを呼び出す

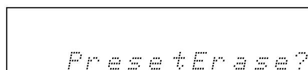
例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき



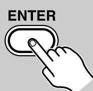
2



EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Preset Erase?（プリセット イレーズ?）」を表示する

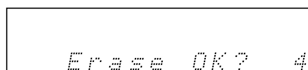


3



ENTER（エンター）ボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。



削除をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

4



ENTERボタンを押す

登録した放送局が削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

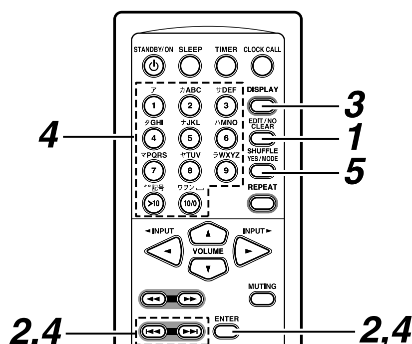
登録した放送局に名前をつける

FMやAMの登録した放送局にアルファベットやカタカナで名前をつけることができます。リモコンで操作します。

登録した放送局に名前をつける

最初に名前をつけたい放送局を登録しておいてください。
(☞23、24ページ)

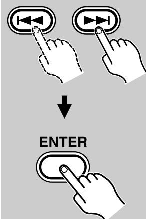
入力できる文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # $ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ’ ” , . ␣（空白） ⁝⁝（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜



1 EDIT/NO/CLEARボタンを押す

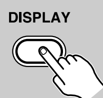


2 |◀◀/▶▶|ボタンで「Name In?」を選び、ENTERボタンを押す



- 表示部に、NAME表示が点灯します。

3 DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ



ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

→ A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）

4 文字・数字ボタンや|◀◀/▶▶|ボタンで入力する文字を選ぶ



アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。
たとえば、②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

数字を入力するには
数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。
たとえば、①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

記号を入力するには
>10ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10ボタンは、␣./＊-,!?&’()　10/0ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。
リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して文字を選び、リモコンのENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

- リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「⁝⁝」や、その他記号の入力は、リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して選んでください。
- 濁点(゛)や半濁点(゜)は1文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。
- 入力できる文字数は8文字です。8文字を越えて入力しようとすると、「Full」と表示されます。

5 YES/MODEボタンを押して入力を終了する



文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、前ページの手順*1*、*2* を行い、文字入力モードにしてください。

❶ **リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、前ページの「登録した放送局に名前をつける」の手順 *3*、*4* にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押す**

ご注意

EDIT/NO/CLEARボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。
続けて文字を訂正/消去する場合は上記❶❷を、終わるときはYES/MODEボタンを押します。

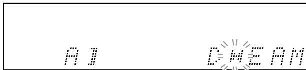
文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、前ページの手順*1*、*2* を行い、文字入力モードにしてください。

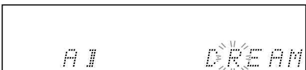
❶ **リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**



❷ **|◀◀/▶▶|ボタンを押して、「M」を表示し、ENTERボタンを押す**



❸ **前ページの「登録した放送局に名前をつける」の手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する**



続けて文字を挿入する場合は上記❶❷を、終わるときはYES/MODEボタンを押してください。

放送局につけた名前を消去する

❶ **入力をFMまたはAMにする**

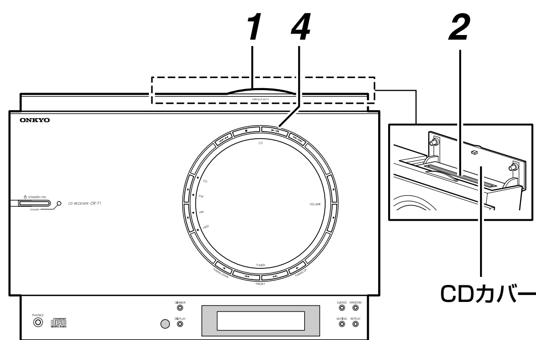
❷ **|◀◀/▶▶|ボタンを押して、名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ**

❸ **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Name Erase?」を表示させる**

❹ **ENTERボタンを押す**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

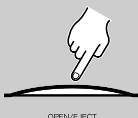
CDを聞く

基本の操作



操作の前に
電源を入れてください。

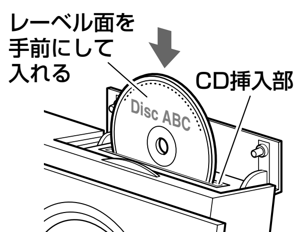
1 OPEN/EJECT（オープン/イジェクト）ボタンを押す



CDカバーが開きます。

2 CD挿入部にCDを入れる

レーベル面（印刷面）を手前にして入れてください。



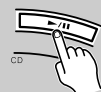
8cmCDでもそのまま入れることができます。アダプターは必要ありません。

3 CDを軽く押す

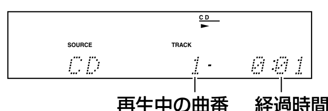
CDが本体に引き込まれます。

- CDカバーは手で閉めてください。
- CDをセットすると、緑色のインジケーターが点灯します。

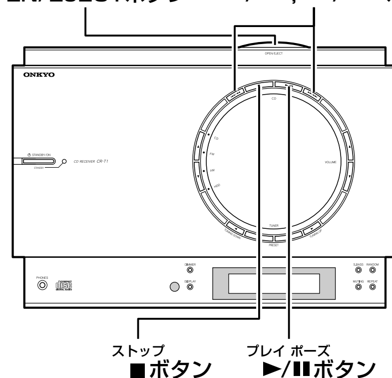
4 CDの►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す



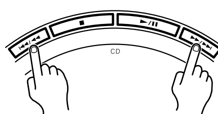
再生が始まります。



本体で操作する

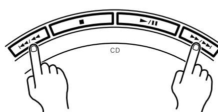


聞きたい曲を選ぶ



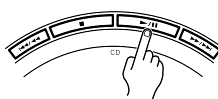
再生中に⏮/◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする



再生中または一時停止中に押し続け、聞きたいところで指をはなします。

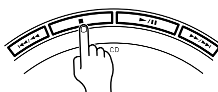
一時停止する



►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。

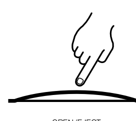
- 表示部に❚❚表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める



■（ストップ）ボタンを押します。

CDを取り出す



OPEN/EJECT（オープン/イジェクト）ボタンを押すとCDカバーが開き、開き終わるとCDが出てきます。

- CDを取り出した後、CDカバーは手で閉めてください。

リモコンで操作する

早戻し/早送りをする
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

聞きたい曲を選ぶ
※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

再生を一時停止する
もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える
DISPLAYボタンを押します。

数字ボタン
選曲して再生する

10/0ボタン :10または0を選びます。
>10ボタン : 2桁以上の曲を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10を押してから選曲します。

再生する
CDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

総曲数　総再生時間（DISC TOTAL）

再生中、一時停止中



ご注意

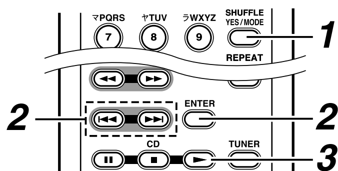
- ディスクを再生できない場合は、8ページを参照して本機に対応しているディスクかどうか、ご確認ください。
- OPEN/EJECTボタンを押したあとは、CDをそのままの状態で長時間放置しないでください。ディスクの変形や破損の原因となります。ディスクはケースなどに入れて大切に保管してください。

CDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生（リモコンのみ）

● 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。

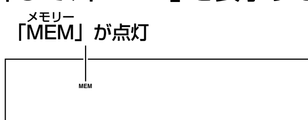


入力がCDで停止中

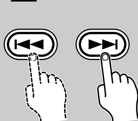
1 YES/MODE(イエス/モード)ボタンを（くり返し）押して、「MEM(メモリー)」を表示する



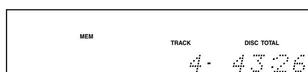
「MEM(メモリー)」が点灯



2 ⏮/⏭ボタンを押して曲を選び、ENTER(エンター)ボタンを押して確定する



次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。



予約曲番　予約曲の合計再生時間



数字ボタンで曲を選ぶこともできます。
(☞31ページ)

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを（くり返し）押すと、最後に入力したものから取り消されていきます。

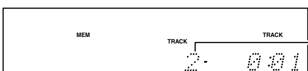
！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。
99分59秒を超えると「--:--」となり26曲以上は予約できません。
「Memory(メモリー) Full(フル)」と表示されます。

3 CDの▶(プレイ)ボタンを押す



メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。



再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲する

再生中に⏮/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

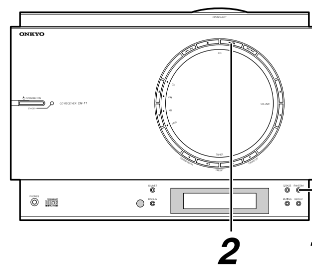
● メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
● 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには ☞「通常再生に戻す」33ページ

● ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

ランダム再生

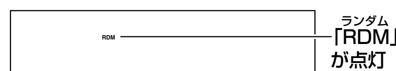
● 曲順をランダムに並べかえて再生します。



入力がCDで停止中

1 本体のRANDOM(ランダム)ボタンまたはリモコンのYES/MODEボタンを（くり返し）押して、「RDM(ランダム)」を表示する

RANDOM
本体
または
SHUFFLE
YES/MODE
リモコン

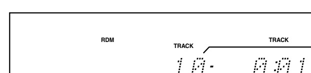


「RDM(ランダム)」が点灯

2 本体の▶(プレイ)/II(ポーズ)ボタンまたはリモコンのCDの▶(プレイ)ボタンを押す

本体
または
リモコン

再生が始まります。



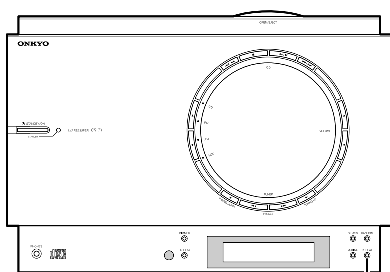
再生中の曲番

解除するには ☞「通常再生に戻す」33ページ

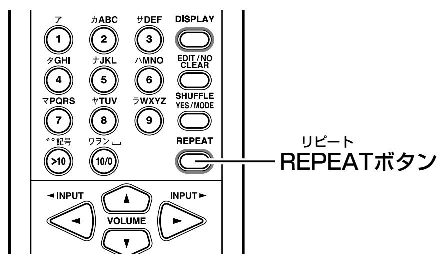
● ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

リピート/1TR リピート再生

- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生はCDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。



REPEATボタン

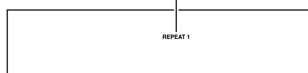


REPEATボタン



本体またはリモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示する

「REPEAT」または
「REPEAT 1」が点灯



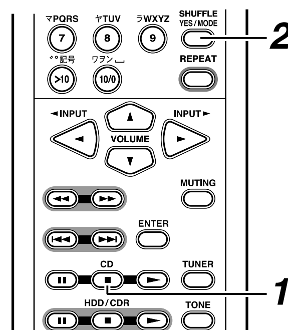
リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

リピート、1TR リピート再生を取り消す



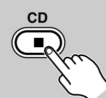
本体またはリモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす（リモコンのみ）



メモリー、ランダム再生を取り消す

1



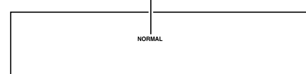
CDの■ボタンを押して再生を止める

2



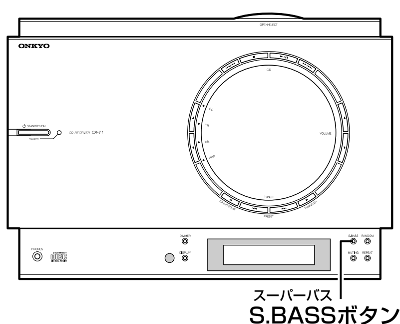
YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「NORMAL」を点灯させる

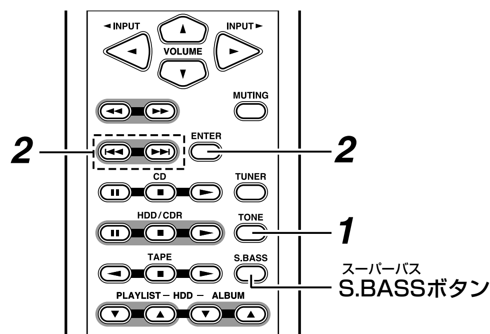
「NORMAL」が点灯



ランダム再生の場合は、本体のRANDOMボタンを押しても通常再生に戻ります。

音質を調整する





低音を調整する

1 TONE

TONE(トーン)ボタンを(くり返し)押して、「Bass(バス)」を表示させる

2 ENTER

⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTER(エンター)ボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「±0」ですが、−10から+10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、TREBLE(トレブル)(高音)の調整になります。

ご注意

操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

高音を調整する

1 TONE

TONEボタンを(くり返し)押して、「Treble(トレブル)」を表示させる

2 ENTER

⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「±0」ですが、−10から+10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ご注意

操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

重低音を強調する

S.BASS
本体
または
S.BASS
リモコン

S.BASS(スーパーバス)ボタンを押す

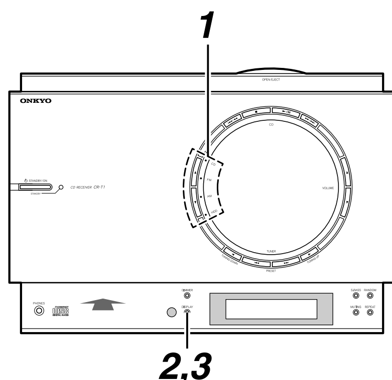
ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.Bass(スーパーバス) 1
(重低音が強調されます)
↓
S.Bass(スーパーバス) 2
(重低音がさらに強調されます)
↓
S.Bass(スーパーバス) Off(オフ)

S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。

入力の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。



本体で操作します

1

入力選択部の▲/▼ボタンを（くり返し）押して、「HDD」を選ぶ

CD
FM
AM
HDD

2

DISPLAY

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを約3秒間押し続ける

Name HDD

3

DISPLAY

DISPLAYボタンを押して、名称を選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

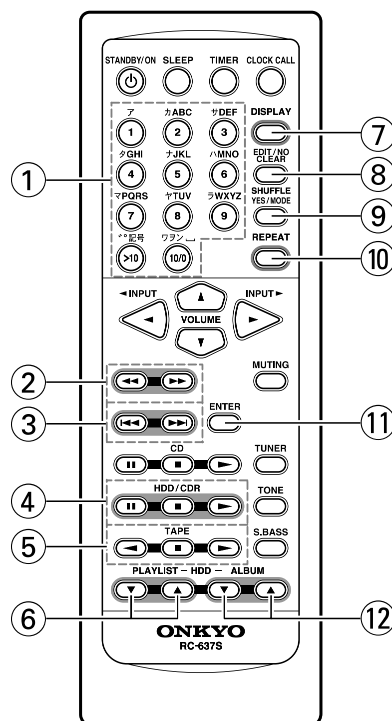
HDD⇨TAPE⇨CD-R⇨MD

2秒後、元の表示に戻ります。

リモコンの操作ボタンについて

接続した機器に合わせて入力の表示名称を変えることによって、使用できるリモコンのボタンは右項のとおりです。

- 機器の接続については、18、19ページをご覧ください。
- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。



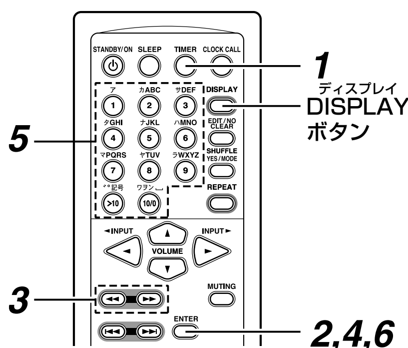
例：⑨のSHUFFLE（シャッフル）/YES（イエス）/MODE（モード）ボタンの場合

- HDD/TAPE（テープ）端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY（ドルビー） NRボタンとして働きます。
- HDD/TAPE端子にDS-A1などのHDD機器を接続して入力名称を「HDD」にしたときは、SHUFFLE（シャッフル）ボタンとして働きます。
- HDD/TAPE端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「CD-R」にしたときは、MODE（モード）ボタンとして働きます。

	接続端子	HDD/TAPE		
	入力名称 / リモコンのボタン名	HDD	TAPE	CD-R/MD
①	1～9			1～9
	10/0			10/0
	>10			>10
②	◀◀/▶▶	◀◀/▶▶		◀◀/▶▶
③	|◀◀/▶▶|	|◀◀/▶▶|	◀◀/▶▶	|◀◀/▶▶|
④	HDD/CDR ▶	▶		▶
	HDD/CDR ■	■		■
	HDD/CDR ⏸	⏸		⏸
⑤	TAPE ▶		▶	
	TAPE ■		■	
	TAPE ◀		◀	
⑥	HDD PLAYLIST ▲/▼	▲PLAYLIST▼		
⑦	DISPLAY	BACK LIGHT		DISPLAY
⑧	EDIT/NO/CLEAR			CLEAR
⑨	SHUFFLE/YES/MODE	SHUFFLE	DOLBY NR	MODE
⑩	REPEAT	REPEAT	REV MODE	REPEAT
⑪	ENTER	SELECT		ENTER
⑫	HDD ALBUMLIST ▲/▼	▲ ALBUM ▼		

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）



リモコンのみの操作です。

1 TIMERボタンを（くり返し）押して、「Clock」を表示する

TIMER

Clock

2 ENTERボタンを押す

ENTER

SUN 0:00

曜日入力に入ります。

3 ◀◀/▶▶ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4 ENTERボタンを押して、曜日を確定する

ENTER

THU 0:00

時間入力に入ります。

5 数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。

24時間表示

THU 19:03

am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

6 時報に合わせてENTERボタンを押す

ENTER

THU 19:03

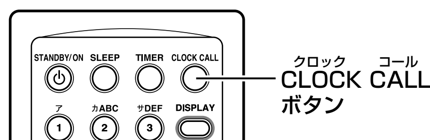
時計が始動し、秒を示すドットが点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

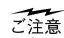


12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。



ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleep(スリープ)タイマー、Once(ワンス)タイマー、Every(エブリー)タイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択
タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類
- タイマーPlay(プレイ)（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec(レック)（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製ＭＤレコーダーやカセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。（☞35ページ）

再生機器の設定
AM、FM、 CDまたは本機に接続しているオンキヨー製MDレコーダーやカセットテープデッキなどの外部機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。☞35ページ）
タイマーRec（録音）は、FMまたはAMから選択して録音できます。

曜日の設定
タイマーは1回だけ働く「Once(ワンス)タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every(エブリー)タイマー」があります。
また、Everyタイマーには「Everyday(エブリデー)（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）	Timer(タイマー) 1	毎朝の目覚ましがわりに タイマーＰｌａｙ（再生）—Ｅｖｅｒｙ—Everyday（毎日）—7:00〜7:30
	Timer(タイマー) 2	毎週のラジオ放送を録音 タイマーRec（録音）—Every—MON(マンデー)（月曜日）〜SAT(サタデー)（土曜日）—15:10〜15:30
	Timer(タイマー) 3	今週の日曜だけラジオ放送を録音 タイマーRec（録音）—Once—SUN(サンデー)（日曜日）—10:00〜12:00

ご注意
- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマーRec（録音）中は、MUTING(ミューティング)機能が働いて音声が消えます。タイマーRec中に音声を聞くには、MUTINGボタンを押してください。

タイマー表示について



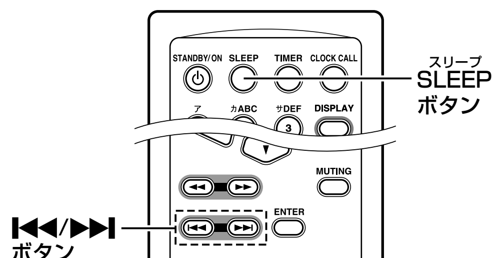
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER(タイマー)表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。
□が点灯している数字はタイマーRecが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合
- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

Timer(タイマー) 1　　9：00 − 10：00
Timer(タイマー) 2　　8：00 − 10：00
　　↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)
Timer(タイマー) 3　　12：00 − 13：00
　　↑ 優先（タイマー番号が早い方）
Timer(タイマー) 4　　12：00 − 12：30

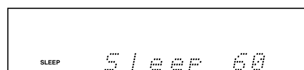
Sleep(スリープ)タイマーを使う

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。





SLEEP(スリープ)ボタンを押す
SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」と表示されます。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。60と設定すると、60分後に電源が切れます。



1分単位で時間を設定したいときは、⏮/⏭/ボタンを押します。1〜99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには
SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには
「Sleep(スリープ) Off(オフ)」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

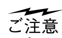
！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

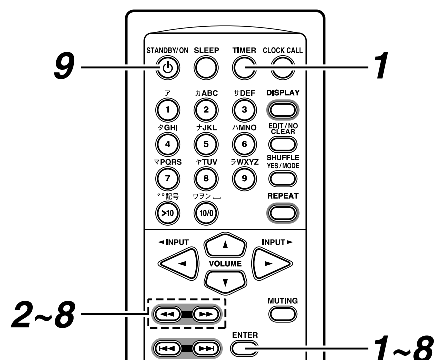
タイマー機能を使う

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞23、24ページ）


ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。



リモコンのみの操作です

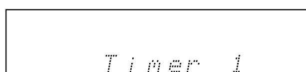
1







＜タイマー番号の選択＞

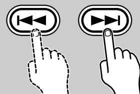


TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer（タイマー） 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTER（エンター）ボタンを押します。

「Clock（クロック）」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞36ページ）

2







＜タイマー種類の選択＞



または

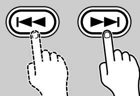


⏮/⏭ボタンを押して、タイマーPlay（プレイ）（再生）またはタイマーRec（レック）（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。

タイマーRecはHDD/TAPE（テープ）端子にテープデッキまたはMDレコーダーを接続し、表示名称を「TAPE」または「MD」にしているとき選ぶことができます。録音中は、MUTING（ミューティング）機能が働きます。

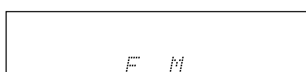
3







＜再生機器の選択＞



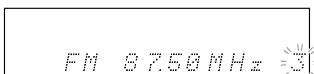
⏮/⏭ボタンを押して、再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマーRec(録音)の時は、FMまたはAMから選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して、希望のチャンネルを選ぶ

チャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。



4

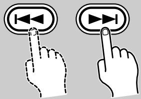


＜録音機器の確認＞（タイマーRec設定時のみ）

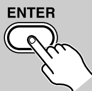


録音する機器が表示されるので、確認してENTERボタンを押す

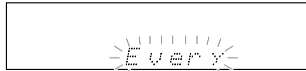
5







＜曜日の設定＞



|◀◀/▶▶|ボタンを押して、"Once"または"Every"を選ぶ

"Once"を選ぶと1度だけ、"Every"を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

"Once"の場合：設定した曜日に1度だけ働きます。



|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

"Every"の場合：設定した曜日に毎週働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ

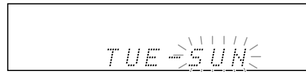
曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。







① |◀◀/▶▶|ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

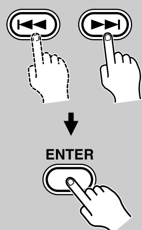
② |◀◀/▶▶|ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

タイマー機能を使う

6



＜開始時刻の設定＞

On　7:29

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

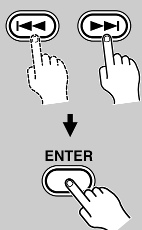
- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

！ヒント

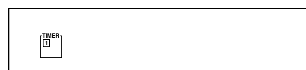
開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。

7



＜終了時刻の設定＞

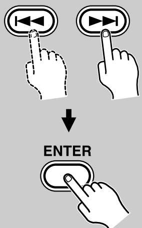
Off　8:29



⏮/⏭ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8



＜音量の設定＞（タイマーPlay設定時のみ）

⏮/⏭ボタンを押して、音量を設定する

お買い上げ時の設定は「15」です。
音量を表示させたらENTERボタンを押します。

9



＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。



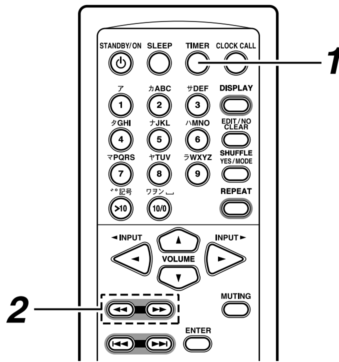
- CDのタイマー再生で、メモリー再生、ランダム再生などを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマーRec（録音）中はMUTING機能が働いて音声が消えます。音声を聞くには、MUTINGボタンを押してください。

タイマー予約をやり直したいときは…

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。



1

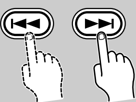


TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行）で設定されている状態です。

2



⏮/⏭ボタンを押して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

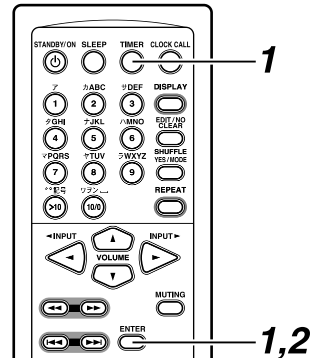
Timer On

または

Timer Off

切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには



1



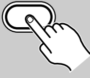




TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2



ENTERボタンを（くり返し)押して、次の内容を確認する

Rec

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中⏮/⏭ボタンを押して、設定内容を変更することもできます。

TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。

通常の表示にするにはEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。また、電源コードのもう一方の側も本機のAC INLETからはずれていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**（37ページ）**
- タイマー再生**（38〜40ページ）**は終了時刻が来るとスタンバイになります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いている可能性があります。電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？**（15ページ）**
- ボリュームが最小になっていませんか?
- 入力ソースは正しく選択されているか確認してください。
- MUTINGインジケーターが点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**(21ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**（21ページ）**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**（15ページ）**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品のディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CDに関して

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- 別のディスクがすでに入っていないか確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は約1時間後に操作してください。**（8ページ）**

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**（33ページ）**

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で“FM ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**（16ページ）**
- アンテナの位置を変えてみてください。**（23ページ）**
- テレビやコンピューターから離してください。
- アンテナをスピーカーや他のケーブル類から離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。**（25ページ）**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をお薦めします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常約3日間は保持されます。登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

ラジオの周波数を調整できない

- 本体のTUNING UP▶/TUNING DOWN◀ボタンまたは、リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。（22ページ）

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（9ページ）
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（18、19ページ）
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器に合わせて入力の表示名称を設定してください。（35ページ）

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。（36ページ）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（40ページ）
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。（37ページ）時間をずらして設定してください。
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。（35ページ）
- タイマー録音するには録音機器側に録音可能なMDやカセットテープなどをセットしておく必要があります。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。（36ページ）

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行なってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを差し込んでください。

■ すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **STANDBY（スタンバイ）/ON（オン） ボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込みます。**

   表示部に「RESET（リセット）」と表示されたあと、スタンバイ状態になります。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部

■総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　39W
待機時電力　0.2W（時計表示なしのとき）
最大外形寸法　298(幅)×204(高さ)×222(奥行)mm
質量　3.2kg
音声入力
　アナログ　1
音声出力
　アナログ　1
　デジタル（光）　1
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　1系統
　ヘッドホン　1
クロック精度　月差±60秒（25℃）

■アンプ部

実用最大出力　10W＋10W
（6Ω、40Hz～20kHz、
全高調波歪率10%以下、2ch駆動時）
全高調波歪率　0.07%（1kHz 1W出力時）
0.4%（40Hz～20kHz 1W出力時）
ダンピングファクター　25（6Ω）
入力感度/インピーダンス　200mV/50kΩ(HDD/TAPE)
音声出力電圧/インピーダンス
　1.0V/2.2kΩ（HDD/TAPE OUT）
周波数特性　20Hz～50kHz/±3dB（HDD/TAPE）
トーンコントロール最大変化量
　BASS　±10dB（100Hz）
　TREBLE　±10dB（10kHz）
　S.BASS1　＋4dB（80Hz）
　S.BASS2　＋8dB（80Hz）
SN比　80dB（HDD/TAPE, IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　6Ω～16Ω

■チューナー部

<FM>
受信範囲　76.00MHz～108.00MHz*
受信感度　Stereo　17.2dBf 2.0μV（75Ω IHF）
　Mono　11.2dBf 1.0μV（75Ω IHF）
SN比　Stereo　65dB（IHF-A）
　Mono　67dB（IHF-A）
歪率　Stereo　0.5%（1kHz）
　Mono　0.4%（1kHz）
ステレオセパレーション　35dB（1kHz）
<AM>
受信範囲　522kHz～1629kHz
実用感度　30μV
SN比　40dB
歪率　0.7%（1kHz）

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1ch、2ch、3chの音声を聞くことはできなくなります。

■CD部

周波数特性　20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ　75dB
全高調波歪率　0.02%
ワウ・フラッター　測定限界以下
（±0.001% W.PEAK）

スピーカー部

D-T1
形式　2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　6Ω
最大入力　40W
定格感度レベル　80dB/W/m
定格周波数範囲　70Hz～50kHz
クロスオーバー周波数　8kHz
キャビネット内容積　1.8リットル
最大外形寸法　125(幅)× 221(高さ)×206(奥行)mm
（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　0.9kg
使用スピーカー
　ウーファー　8cm A-OMFダイアフラム
　ツィーター　2cm バランスドーム型
ターミナル　プッシュ式
防磁設計　有

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製品名　CR-T1 または X-T1CR
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

メモ

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　月　日
ご購入店名：
Tel.　　(　　)
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30〜17：30
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

G0604-1

SN 29344177

